



兵肢協会報

発行所

〒651-0062

神戸市中央区坂口通2丁目1-1

兵庫県福祉センター内

兵庫県肢体不自由児者協会

TEL 078-241-9907

FAX 078-241-9908

E-mail:hyoshikyo@nifty.com

URL:http://hyoshikyo.d.doool.jp

「愛と友情の旅」参加までの葛藤



兵庫県肢体不自由児者協会 理事
明石市肢体不自由児者父母の会 会長

中 嶋 美 貴

今回このような機会をいただきましてありがとうございます。拙い文章となりますが、この機会に今回参加させていただいた「愛と友情の旅」へ参加するまでのお話ができればと思います。

息子は今年11月に31歳になります。

養護学校を卒業するときに、明石市肢体不自由児者父母の会の前会長で兵肢協にも関わっておられた宇治恭子さんから青年グループへのお誘いを頂き、何かしらつながりがあればと入会させていただきましたが、イベントなどへの参加はなかなかできずにいました。それは宇治さんに変わり父母の会の会長、兵肢協の理事になってからも変わりませんでした。

双子の兄は大学入学を機に県外で一人暮らしを始めましたが、弟は6歳離れていてその頃は中学に入ったばかりでした。なかなか旅行などにも連れていけずにいたのに、わがままも言わずにいる弟に「できるだけ傍にいてあげよう、できるだけ優先してあげよう」と思っていました。また、息子もショートステイに慣らす時期でもあり、タイミグがあわなかったのもあります。

その弟も一昨年大学を卒業し、関東へ就職し、一人暮らしを始めました。大学卒業前に父母と伊勢旅行をしたときはとても嬉しそうにしていたのが印象的であった反面、これまで連れて行つてやれなかったことに申し訳ない気持ちになりました。

同時期に、3交代勤務で働いていた主人も定年退職となり、私自身も勤務先の都合で仕事を辞めざるをえなくなったことで、家族の生活が一変した時期でした。しかし、それはそれで時間に余裕が生まれ、年に1〜2回は小旅行に行くようになりました。ただ、そこには息子はいません。旅行に行くたび、「車椅子で来られたらいいのに」「ここは息子も泊まれるかな」「この坂は難しいかな」「車椅子では楽しめないかも」等、一緒に旅行できないことが心残りでした。

兵肢協の「愛と友情の旅」の案内はいつも拝見していましたが、スケジュール的に難しいかとの思いもあり、なかなか決心がつかなかったところ、事務局の方々や実際に体験された方が熱心に勧めて下さり、主人に相談すると息子も一緒に行ける機会なら是非行こうと同意してくれたのが決め手になりました。

遠方で個人では難しい旅程でもあり、思い切つて参加して良かったと思っています。ご一緒させていただいた方々もとても気さくで、初めての私たちにいろんな話を聞かせてくださいました。

たくさんさんの思い出がありますが、ここで書くところでもない長文になりそうなので割愛しますが、本当にあつという間の3日間でした。内容も濃いものでとても充実していました。

初めての飛行機や船に乗ったこと、お気に入りになったグッズを買ったこと、みんなで温泉に入ったこと、挙げれば切りがないくらいです。

旅程の間、ホテルでは大きな部屋を用意してくださり、一般客と鉢合わせしないように時間を考えて下さったり、呼吸器のフィリップス社には現地に呼吸器を手配してくださったり、多くの方の協力と努力でできている旅行なのだ改めて感じました。事務局をはじめ、ご協力頂いた皆さまにお礼申し上げます。ありがとうございます。

肢体不自由児者協会は

肢体不自由児者の愛護思想の普及、療育等に関し必要な事業を行い、肢体不自由児者の福祉の増進を図ることを目的とし、そのために、

- 一 肢体不自由児者の愛護思想の普及
- 二 肢体不自由児者の療育相談及び更生相談
- 三 肢体不自由児者の教育の援護
- 四 肢体不自由児者の激励慰安
- 五 肢体不自由児者に関する刊行物等の発行及び幹旋
- 六 肢体不自由児者の福祉に関する調査及び研究
- 七 日本肢体不自由児協会及び関係諸団体との連絡などを行っています。